

三股町議会だより



↑
三股町議会ホームページ

みまた ぎかい

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

Vol. **113**

2023.11.15
三股町議会発行



PHOTO: 前目地区の稲刈り風景

三股町議会 第4回(令和5年9月)定例会報告

令和4年度決算 全会一致で可決 他

そこが聞きたい!!

一般質問… 9名

三股よかところ再発見

研修先で三島通庸公のお墓参りをしました!!



花と緑と水のまち
宮崎県 三股町

三股町議会

第4回(令和5年9月)定例会報告

町議会では、9月定例会を9月1日から19日までの19日間開催しました。今議会には、議案25議案、発議1件、諮問1件、報告3件が上程され審議されました。



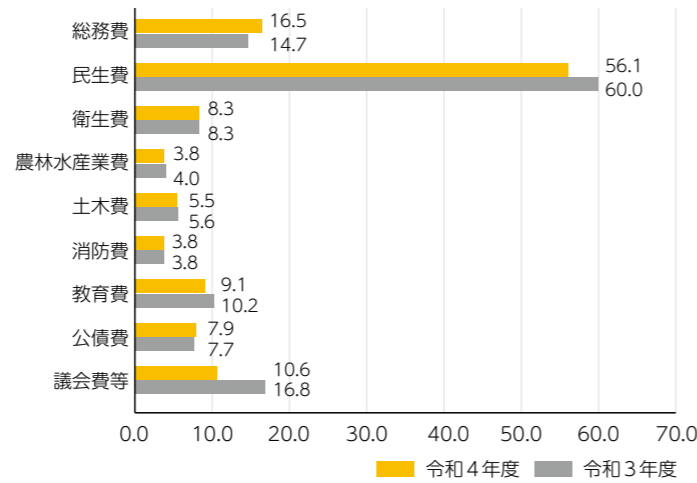
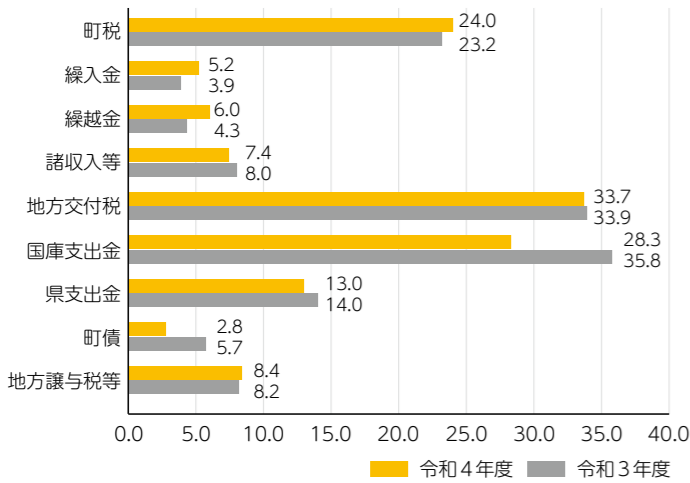
令和4年度決算

全会一致で **認定**

一般会計

歳入決算 **128億8,000万円**
(3年度歳入決算 137億円)

歳出決算 **121億6,000万円**
(3年度歳出決算 131億1,000万円)



令和4年度 主な事業

三股駅バリアフリー化	3,993万円	耕地災害復旧事業	4,673万円
企業立地促進事業	5,024万円	道路維持補修事業	5,930万円
ふるさと納税推進事業	9,403万円	三股小学校南校舎外壁補修工事	4,816万円
施設型給付事業	18億9,360万円	第4弾みまたん応援プレミアム付商品券発行业業	
養護老人ホーム措置事業	1億2,453万円		1億6,805万円
予防接種事業・定期予防接種事業	7,993万円		
処分場維持管理(塵芥収集運搬事業含)	1億3,360万円		

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	29億8,410万円	27億8,665万円
後期高齢者医療保険	3億1,157万円	3億992万円
介護保険	23億2,466万円	21億8,017万円
介護保険サービス事業	1,520万円	1,424万円
梶山地区農業集落排水事業	3,890万円	3,812万円
宮村南部地区農業集落排水事業	4,203万円	4,165万円
公共下水道事業	6億3,159万円	6億953万円

令和5年度 補正予算等

全会一致で **可決**

補正予算

- 一般会計補正予算 **5億4,294万6千円** 増額
- 国民健康保険特別会計補正予算 **6,415万3千円** 増額
- 後期高齢者医療保険特別会計補正予算 **53万8千円** 増額
- 介護保険特別会計補正予算 **1億5,024万6千円** 増額
- 介護保険サービス事業特別会計補正予算 **96万1千円** 増額
- 梶山地区農業集落排水事業特別会計補正予算 **78万2千円** 増額
- 宮村南部地区農業集落排水事業特別会計補正予算 **38万2千円** 増額
- 公共下水道事業特別会計補正予算 **520万1千円** 増額

条例改正

賛成多数で **可決**

- **三股町特別会計条例を廃止する条例**
令和6年4月1日から地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、三股町特別会計条例(令和4年三股町条例第10号)を廃止するもの。
- **三股町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例に関する条例**
令和6年4月1日から三股町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、関係条例の整備を行うもの。
- **町長等の給与の減額に関する条例**
令和5年9月8日付けで執行した職員2名の懲戒処分に関して、最終的な監督責任者の責任として、町長、副町長自ら処分を科すもの。

工事請負契約の締結等

全会一致で **可決**

- **令和4年災 1019/341 福留水路本復旧工事** **8,377万6千円**
【契約業者】 有限会社 長崎建設
- **三股町第7期仮想サーバ等構築事業** **1億39万9,200円**
【契約業者】 NTT・TCリース株式会社 南九州支店

第4回(令和5年9月)定例会 採決結果

●は賛成 ●は反対 一は欠席 ※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結	岩	中	上	西	田	堀	新	楠	堀	内	指	山
		果	津	原	西	村	中	和	坂	原	内	村	宿	中
第64号	町長等の給与の減額に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	否決	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※上記以外の議案第40号～第63号、発議第1号については、全会一致のため未記載としております。
 ※議案第64号、諮問第1号については、以下のとおり反対討論がありました(要点のみ)。
 ・(議案第64号) 減給の内容が軽すぎるので、金額等を含めて減給の見直しをした方がいい。
 ・(諮問第1号) 議員は相談対応が多岐に渡るので、議員と委員を兼務して活動を行うと相談対応が困難になってくるのではないかと。

そこが聞きたい!

一般質問とは?

議員が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

傍聴者数
延べ**28名**
ありがとうございました。

三股町議会 第4回(令和5年9月)定例会 一般質問

質問者	通告された質問事項	頁
楠原 更三	①行政情報発信状況について ②町内文化財の指定及び整備への動きについて	5p
山中 則夫	①町政の諸課題の取組みについて	6p
内村 立吉	①防災について ②畜産について ③農業について ④相続未登記の農地について	7p
新坂 哲雄	①農業対策について ②道路整備について ③長原茶園の排水について	8p
中原 美穂	①三股町 DX 推進について	9p
田中 光子	①公営住宅等維持管理について ②AED利用について	10p
堀内 和義	①勝岡小学校通学路の歩道整備について ②議会のタブレット活用について ③マキ科の害虫キオビエダシャクの発生状況について	11p
上西 雅子	①国連の核兵器禁止条約に対する、町長の政治姿勢について ②介護予防事業について ③生活困窮者に対する自立支援の取組みについて ④役場庁舎内のバリアフリー化について	12p
岩津 良	①自治体 DX (デジタル・トランスフォーメーション) の推進について	13p

5p～13pは一般質問のやりとりの中から、質問した「議員自らが抜粋した内容」を掲載しています

一般質問
「そこが聞きたい!」



教育課長

Q 文化財の町指定への動きは

A 応援する方に注力したい



楠原 更三議員

郷土芸能を町指定文化財へ

Q これまで町長及び教育長は、町内の民俗芸能の町指定文化財化へ前向きな答弁をされています。文化財の保存継承を含めての現在の動きはどのようになっていますか。

A 教育課長

本年度は、町指定文化財の北郷兄弟の墓の石柵の修復等を行う予定です。指定に向けて民俗芸能の更なる知見を得ることは困難であると思われる。これまで同様、保存継承を応援する方に注力したいと思います。

Q 以前に「指定については、町独自の判断で行いたい。それにはまず、文化財調査委員会の立ち上げが必要である」との答弁と比べると後退している感があります。委員会の立ち上げの動きはどのようになっていますか。

A 教育長

今後、検討しますというより考えていきます。

野崎重則翁像周辺の整備は

Q 役場正面の野崎重則翁像は本町の歴史資源となる人物です。翁についての理解しやすい解説文を設置するなどの整備はできないでしょうか。

A 教育課長

翁については町史に描写がありますが、当時を確認できる一次史料が決定的に不足しており、調査に限界があるのが現状です。現時点での研究成果を町民に提供するという形で協力したいと考えています。

梶山城跡国指定への今後の予定

Q 国指定に向けて着手する予定との答弁がこれまでありましたが、現状と今後の予定はどのようになっていますか。

A 教育課長

現在は、文献資料の調査を行っています。県の教育委員会の指導の下、梶山城跡保存整備検討委員会と連携しながら、国への提出書類を取りまとめていく予定です。

Q 『本町の文化財は、本町の歴史の中で生まれ、今日まで保存継承されている町民の貴重な財産です。これらを保護し、伝承していくことは、今を生きる私たちの責任です。文化財の保存継承に積極的に取り組んで参りたい』これは令和4年6月議会での町長の答弁です。一言お願いします。

A 町長

その気持ちは、今も変わりません。今後、どのようにしたら良いのか、体制等については教育委員会と考えていきたいと思っています。

行政情報の周知徹底状況

Q 行政事務連絡員を通して行政情報の周知徹底を図られていますが、町からの発信手段として、一番に位置付けているものは何でしょうか。

A 総務課長

回覧 31.4%、広報紙 22.5%、町ホームページ 16.8%、防災行政無線 14.4%、の順で、行政事務連絡員を通じた連絡体制を活用しての発信の割合は高い状況ですが、回覧の在り方に見直しを求める意見もあります。



やま なかのり お
山中 則夫議員

Q 牛ノ峠バイパスを急げ!!

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

A 休止区間の事業再開を目指します

Q 国道222号牛ノ峠バイパス建設促進協議会を設立しましたが、内容は。

A 町長

牛ノ峠バイパスは日南市を起点として都城市に至る国道222号の一部であり、日南市と都城北諸県郡との時間短縮を図るため延長20.6kmのバイパスとして計画されました。都城市安久町から本町宮村までの約7.1kmについては平成10年度に休止区間となっています。

休止区間の早期再開を目指し、「国道222号牛ノ峠バイパス建設促進協議会」を設立しました。休止区間の早期事業再開が実現することを目指し、令和5年10月14日には、都城総合文化ホールにおいて決起大会の開催を予定しています。



国道222号 牛ノ峠バイパス三股側の休止地点

三股駅周辺の整備は

Q 三股駅周辺の為に、これまで数億円使っていますが、段々と活気がなくなっています。三股駅周辺の整備にどう取り組んできていますか。

A 企画商工課長

駅周辺に係る整備事業としては、トイレ改修や駅前ロータリー広場の整備、今年の3月には、三股駅バリアフリー化事業に取り組みました。

また、一方でソフト事業として、駅周辺賑わい

再生支援事業を創設し、昨年度までに4団体に対して補助を行っています。

Q 町民から駅舎の中にコインロッカーを設置してくれとの相談がありましたが。

A 総務課長

自転車に乗る際にヘルメット着用が努力義務となっております。駅を利用される方々が、ヘルメットを持ち運ぶ点でロッカーがあった方がいいのではないかという話を伺ったことがあります。

ロッカーの設置という点については、今後、駅の活性化に伴い公共交通関係も再編成をいたしますので、駅を中心として、人が集まることを想定し、総合的に考えた場合に、ロッカーは必要かと思えます。今後、ロッカーの設置については、駅の利用率等も含めて検討していきます。

三股町は今後「自主・自立、でやっていけるか

Q 平成の合併時、三股町は合併しませんでした。その後、本町は頑張っているという姿が町民に見えていないと思います。三股町は投資的経費の面からみて今後も単独でやっていけるのでしょうか。

A 税務財政課長

今後とも財源の確保に努め、事業の選択と平準化を図ることで、「自主・自立」の運営ができるものと考えています。

投資的経費につきましては、以前は多目的スポーツセンターリニューアル事業など大型事業があったことから投資的経費が伸びていたところですが、近年10億円を下回っています。今後とも、財政状況を見ながら、施策の実現を目指します。

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

Q 災害時の危機管理については

A 必要な見直しを行う



うちむら たつよし
内村 立吉議員

防災について

Q 内閣府が災害時に陣頭指揮を執る首長向けに心構えや、初動対応を指南する動画を作っています。この動画を今後どのように活かしていきますか。

A 町長

陣頭指揮に携わる責任、心構えと住民の命を守ることが、最大の目標であることを再認識したところです。三股町地域防災計画がありますので、危機管理係を中心に、計画の初動対応に関する事項の点検と必要な見直しを本年度中に行っていきたいと考えています。

畜産について

Q 各自治体のふるさと納税につきましては、肉が上位を占めています。三股産、三股牛をアピールするために、本町も行政が中心となり、宮崎牛、三股独自のブランド化はできないでしょうか。

A 農業振興課長

ブランド化(三股牛)については、JA、関係機関、生産者団体など一体となった取り組みが不可欠で、クリアしないとイケない課題も山積みしていることから、本町が主体となつてのブランド化等の取り組みは考えていません。

農業について

Q 有機農業について、全国84自治体がオーガニック宣言も行っています。本町も、有機農業を核とした町づくりはできませんか。

A 農業振興課長

有機農法については、メリット、デメリットを理解してもらうことが重要と考えています。1・2

年で成果が出るものでなく、長期的な視野に立って進めていかなくてはならないと考えています。有機農法に代わるものとして、宮崎県では減農薬や有機肥料を活用した*「ひなたGAP認証制度」があり、個々の農家での取り組みは可能ですので、その支援については推進したいと思います。

(※) ひなたGAP認証制度…宮崎産の農産物の消費拡大を目指した制度。



相続未登記の農地について

Q 相続未登記の農地・未登記の遊休農地の状況及び今後の対策は。

A 農業振興課長

相続未登記の農地は、令和5年8月調査では前年調査より134筆8ha増加しています。

相続未登記農地の遊休農地については、令和5年3月の報告で前年の報告より5筆減りましたが、面積は、1,953㎡増えています。

未相続農地対策は、相続人を探索し、解消に向けた手続きを促しています。遊休農地対策は、パトロール等により、発生防止に努めています。

また、令和6年4月1日から相続登記が義務化されますので、周知を図っていきたく考えています。



にい さか てつ お
新坂 哲雄議員

Q 猿による農作物被害対策は

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

A 猟友会へ捕獲の許可を出している

Q 近年、猿による農作物被害が出ていますが、その対策は。

A 町長

5月に、長田地区の方から猿の目撃情報が寄せられたことから、現地へ向かいましたが、動きが速いため確認はできませんでした。三股猟友会で編成する有害鳥獣駆除班へ、5月18日と8月18日の2回、捕獲の許可を出しております。人家や公道から400m以内は猟銃の使用ができないことから、罠を仕掛けて対応しているところです。

Q 猿の駆除はできませんか。

A 農業振興課長

猟友会の方々からは、「猿は頭のいい動物なので、なかなか捕獲が難しい」と聞いております。猿による人的被害が出ていないことから、猟友会が猿を捕獲した場合には、山奥に放すこととなります。

切寄道路整備について

Q 大雨時に切寄の御崎神社の横の県道まで土砂が流れてくるため、御崎神社の参道及び林道、民家等の道路補修工事を早急にお願ひできませんでしょうか。

A 都市整備課長

御崎神社西側の道路につきましては、町道梶山47号線になりますが、民間事業者による土砂の搬出入により、路面のひび割れや砂利の散乱等が見受けられる状況にあります。今年7月の大雨の翌日にも、土砂の流出に伴う対応を要したことから、同月に民間事業者と協議を行い、流出した

土砂の早期撤去をお願いするとともに、今後の土砂搬出の工程を確認し、町が舗装補修を行った場合、以降の土砂の搬出は行わないことを確認したところです。道路の円滑な交通を確保するため、県道都城北郷線の交差点から御崎神社の駐車場までの舗装補修について検討してまいりたいと考えています。



町道梶山47号線 (前方は県道33号線)

長春茶園排水路計画について

Q U字溝の整備はいつ頃でしょうか。

A 農業振興課長

当該崩壊箇所の災害復旧工事やU字溝の整備につきましては、優先順位としては低いとの判断から、今後、発生する台風や想定外の大雨等によっては、被害が拡大することも考えられますので、状況を見極めながら検討してまいります。

Q 森林環境譲与税で工事を行うとの事でしたが、その後どうなっていますか。

A 農業振興課長

風倒木の除去については、森林環境譲与税の活用を検討していますので、地権者からの連絡を受けて、膝を交えて協議したいと思います。排水路の敷設については、まずは風倒木の除去が先決であり、その上で検討したいと思います。

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

Q デジタル化推進に向けて



なか はら み ほ
中原 美穂議員

A デジタル社会の促進に取り組む

デジタル化の推進について

Q 三股町が、デジタル化(DX)を支える情報環境の整備充実を施策の基本的な方向として、様々な取組を行ってきた具体的な進捗状況は。

A 町長

小学校用指導用デジタル教科書の導入や中学校への学習用タブレットの整備に始まり、児童・生徒ひとり1台端末を実現しているところであり、指定避難所への*Wi-Fi環境の整備を計画的に取り組んでいます。

(※) Wi-Fi…無線でインターネットに接続するのが特徴で、電波が届く範囲でのみ利用可能です。

Q 三股町DX推進基本計画「利用者の視点から業務の流れを改革し、地域の実情に応じて誰一人取り残さない人に優しい施策を講じていきます」とは、どのように検討されているのでしょうか。

A 総務課長

三股町DX推進基本計画の具体的な施策としては、行政*オンライン手続き・インターネットサービスの利用方法・キャッシュレス決済の利用等について、スマートフォン教室の開催や取扱相談窓口の開設、情報発信を積極的に行い、情報格差を是正する支援を行っていく計画であります。

(※) オンライン手続き…窓口に行かなくてもパソコンやスマートフォンを利用して各種の申請等ができる手続き

Q 自治体DXの推進が不可欠と記載されておりますが、現状の取組み状況、施策の具体化はどのように進んでいるのでしょうか。

A 総務課長

令和5年度に三股町DX推進本部内に利用促進に関するDX専門部会等を発足させたところです。

Q 行政オンライン手続きの利用実績状況は。

A 総務課長

国の特別定額給付金の支給に際し、マイナンバー活用によるネット申請手続きを実施しております。また、宮崎県電子申請システムを活用し、コロナワクチン集団接種の受付予約など各種オンライン手続きを実施しております。

Q ペーパーレス化(コピー、製本、差し替えなどの事務作業軽減、業務スピード向上など)の本町の取組み状況を教えて下さい。また、自治体デジタル化による年間の経費削減見込みは、計画に基づき取り組まれているのでしょうか。

A 総務課長

ペーパーレス化に関するコピー用紙の削減や印刷、製本に携わる時間の削減、人的コスト削減による経費の削減効果と削減計画において数値的計画立ては行っておりませんが、印刷ミスした紙の再利用や資料の両面コピー化に取り組んでいます。





たなか みつこ
田中 光子議員



Q AED使用時の三角巾導入は？

一般質問
「そこが聞きたい！」



総務課長



A 三角巾の装備は進めていきたい

AED利用について

Q 女性に対してAEDを使用する際に、プライバシー保護ができないことを要因として、使用を躊躇する場合があります。プライバシー保護の手段として三角巾を導入してもらえないでしょうか。

A 総務課長

AEDを使用する際のプライバシー保護の観点から三角巾の装備が推奨されています。三角巾は他にも幅広い用途に使用ができることから、装備については前向きに進めていきたいと考えます。



AED利用時の三角巾の使い方

Q AED設置が推奨されている施設として学校が上げられますが、教職員への研修の充実はどのようにされているのでしょうか。

A 教育長

学校においても、運動中の事故や熱中症に伴う突然の心肺停止のリスクがあります。万が一に備え、各学校及び関係機関と連携しながら引き続き教職員のAED使用に関する研修機会の充実を図りたいと考えております。

町営住宅維持管理について

Q 30年以上経過した町営住宅の維持管理の現状はどのようになっているのでしょうか。

A 都市整備課長

貯水槽の修繕等の維持管理費は、令和4年度までの3ヶ年平均で、年1,900万円弱となっております。

Q 入居者目線での劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築はできているのでしょうか。

A 都市整備課長

基本的には入居者からの電話や窓口での相談があった際に対応しているところです。

Q 更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅等の効率的かつ円滑な更新を行っていくことが課題となっていますが、維持管理、解体・廃棄までに要する費用の総額はどれくらいでしょうか。

A 都市整備課長

町営団地の種類	維持管理費(年)*	改修、解体費用
簡易耐火平屋住宅	180万円程度	R8年度までに用途廃止
木造住宅	190万円程度	6,500万円程度
耐火構造住宅	3,000万円程度	68億円程度

*過去3ヶ年の平均の額で算出

Q 住み続けたいまちづくりの実現に向けて、町営住宅の施策はどのように考えられているのでしょうか。

A 都市整備課長

耐火構造住宅につきましては、464戸のうち198戸は30年以上経過しキッチン、バス、洗面台の3点給湯器が未整備など施設面の課題もあることから、施設の長寿命化や住戸改善などに取り組むこととしております。

一般質問
「そこが聞きたい！」



都市整備課長



Q 勝岡小学校通学路の歩道整備は



ほりうち かずよし
堀内 和義議員



A 安全確保に向け検討します

歩道整備の進展について

Q 町道勝岡夢池線から勝岡小学校に通じる通学路の歩道整備の進展状況は？

A 都市整備課長

歩道にあった電柱は移設しましたが、道路の両側に家屋が連なっていることから、道路の拡幅を伴う歩道整備は難しいと判断しております。安全確保に向け、引き続き学校関係者等と連携しながら検討してまいります。

Q グリーンベルトはありますが、道路幅も狭く危険です。縁石のある歩道整備はできませんか？

A 都市整備課長

現在の幅員、道路幅は約6mであり、例えば2m幅の歩道を縁石により整備した場合は、車両の離合が困難になることから、土地を買収して道路を拡幅する必要がありますので、整備は難しいと判断しております。



勝岡小学校前の通学路

Q 勝岡夢池線の角地が空き家となっており、倒壊の恐れもある危険な状況ですが対策はできませんか？

A 都市整備課長

空き家の管理は所有者の責任となりますが、通学路の安全確保等を図るため、所有者と敷地内の空き家の除却に向けて協議を進めているところです。

議会のタブレット活用について

Q 全議員にタブレットが貸与されていますが、議会資料のペーパーレス化はできませんか？

A 総務課長

ペーパーレス化には、資料の電子データ化が必要ですが可能であり、これから取り組んでいくべき事項でもあります。さらに議会資料に特化した事前準備と時間を経る行うことが必要であると考えます。

Q ペーパーレス化によるランニングコストの試算はされていますか？

A 総務課長

コピー用紙の削減や印刷、製本に携わる時間の削減、人的コスト等の削減に期待できるものですが、議会資料に特化した試算はしていないところです。

キオビエダシャクの発生状況について

Q マキ科のイヌマキ等にキオビエダシャクが大量発生していますが、町内での発生状況は？

A 環境水道課長

本町での状況につきましては、現在、把握する手段がないため難しい状況ですが、令和5年度は、5件の相談があります。

Q 自治公民館やグループで行う防除に町所有の防除機の貸し出し、薬剤補助はできませんか？

A 農業振興課長

現在、農業振興課においては、家畜自衛防疫推進協議会で動力噴霧機を所有しています。本来の目的とは異なる使用となりますが、キオビエダシャクの異常発生やそれに伴う樹木被害が深刻であることから、貸し出し基準を設けるなど、前向きに検討させていただきます。

なお、薬剤の補助は、現在のところ考えておりません。



かみにしまさこ
上西 雅子議員



「非核・平和」の
立て看板は

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

A 再度設置する

国連の核兵器禁止条約について

Q 国連の核兵器禁止条約を、唯一の被爆国である我が国は参加・調印・批准をしていません。その事に対する町長の政治姿勢を伺います。

又、「非核・平和のまち宣言」の立て看板の今後の予定を教えてください。

A 町長

本町は、「平和首長会議」に加盟しており「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を続けていきたいと考えています。

又、老朽化等で撤去されていた立て看板については、再度設置する予定です。

介護予防事業について

Q 介護予防事業の取り組みについて教えてください。

A 高齢者支援課長

「元気アップサロン」「足もと元気教室」「*ぴしゃトレ」を社会福祉協議会に委託し取り組んでいます。

(※)ぴしゃトレ…「ぴしゃっとトレーニング」の略。町民の健康づくりや介護予防を目的とした専門家によるフィットネス教室。

Q 「ぴしゃトレ」は、開始してから人数が倍増しています。見守り体制は取れていますか。

A 高齢者支援課長

各専門職とボランティアの協力もあり、見守り体制は取れていると考えています。

Q 個別支援が必要と思われる人に対する事業はありますか。

A 高齢者支援課長

個別の支援が必要な人には、自宅への訪問支援や他の社会資源の紹介をする等の対応をしています。今後は「元気アップサロン」を個別支援の場として位置付けたいと考えています。

Q 今後の取り組みは。

A 高齢者支援課長

事業に参加された方のデータを蓄積し、介護予防効果や認知症対策への活用をしていきたいと考えています。

自立支援について

Q 生活困窮者・生活保護受給者に対する自立支援はどのように行われていますか。

A 福祉課長

住居確保・就労・家計管理等、状況に応じた支援を行っています。また「どうぞ便」等の配達ボランティアで、利用者の状況把握や課題の発見につなげる支援を行っています。

Q 状況・状態・意向に合わせたプランの作成を行う等、段階的で系統立てた支援を、関係機関との連携で行う事が必要ではないですか。

A 福祉課長

そのような事を、今後県に提案等していきたいと考えています。

バリアフリー化について

Q 町庁舎・公共施設のバリアフリー化されていない箇所について、今後の予定を教えてください。

A 総務課長

議場や議会傍聴席は段差が多い為、協議を続けましたが、構造上不可能で困難です。傍聴席に行けない人への対策として玄関ロビーにテレビ視聴ブースを設置しています。

Q 各地区分館の女性用トイレはほとんど和式の為、足腰の問題で利用できない人が増えています。洋式に変えていく事を検討できないでしょうか。

A 教育課長

町の「公共施設等総合計画」等を考慮しながら検討していきます。

一般質問
「そこが聞きたい!」



町民保健課長



マイナンバーカード
交付率は



いわつりょう
岩津 良議員

A 7月現在で84.3%

自治体デジタル化の推進について

Q 三股町では「マイナンバーカード」の現在の交付率は。

A 町民保健課長

マイナンバー制度は、国民の利便性向上と行政の効率化を進め、より公平・公正な社会を実現するためのデジタル社会の基盤として平成28年1月に導入されました。

三股町での交付率は7月現在で84.3%となっております。

Q 誤登録やトラブル等について、対策はありますか。

A 町民保健課長

本町では現在のところトラブル等は発生していません。

トラブル等への対策としては、登録時の画面に保険証等の*アイコンを役場独自で作成し、誤作業が発生しない仕組みを作っているところです。

(※)アイコン…内容を簡単な絵で表現したもの。

Q 利便性を理解していただく為の周知をどのようにされますか。

A 町民保健課長

利便性については、窓口サービスを充実するため、令和4年1月より住民票等のコンビニ交付を開始し、マイナンバーカード交付時に説明をしています。

また、来庁者が申請書を記入せずに各種証明書の発行や住民異動届等の手続きができる窓口サービスを令和5年12月に導入予定ですので、利用の周知を図ってまいります。

Q 自筆署名が困難な場合等、申請の支援は。

A 町民保健課長

申請については本人の意思確認が必要となっております。自身で申請ができない場合は、代理申請が可能です。暗証番号設定は本人が決めないといけません。困難である場合でも指さし等の工夫をしてできるだけ申請が可能ないように取り組んでおります。

Q デジタル化の推進にあたり、住民サービス向上の為、スマートフォン等を活用していただくことも重要になる可能性もありますが、デジタル化に不安がある方など解消についてはどう取り組んでいかれますか。

A 総務課長

デジタル化に不安を抱える世代への情報格差を是正するための具体的な施策としては、行政オンライン手続き・利用方法・キャッシュレス決済等について、スマートフォン教室の開催や取扱相談窓口の開設等の情報発信を積極的に行い、支援を行っていく計画であります。

Q 知りたい情報にすぐたどり着ける工夫はできませんか。例えば、くいまーの運行位置情報や到着時間の案内やまたAEDが必要な緊急時ですぐ設置場所が分かるアプリなどは取り組みませんか。

A 総務課長

バスについては、民間の事例も活用して、来年度事業として計画をしていきたいと考えております。AEDなど緊急性な部分は特にマークやアイコンを用いて、分かりやすく情報にたどり着く工夫を前向きに検討したいと思います。

文教厚生常任委員会 視察研修報告

●日程：8月7日(月)～8日(火)
●参加者：文教厚生常任委員会5名
及び議会事務局1名

視察先 佐賀県みやき町・福岡県新宮町(子育て支援事業について)

子育て支援事業について、佐賀県みやき町と福岡県新宮町へ研修に行き参りました。

みやき町では、学校給食費の支援が、平成27年度から行われ、平成30年度には完全無償化となっております。財源にはふるさと納税が活用されています。

新宮町では、町の独自の子育て支援アプリ「ぐーまっち！」を導入し、伴走型相談支援を後押しする機能として活用され、子育て世代の支援を行っています。

両町において今後のあり方について意見交換を行いました。



三股町交流拠点施設整備事業に関する調査特別委員会行政視察報告

●日程：8月17日(木)～18日(金)
●参加者：調査特別委員会8名及び議会事務局2名

視察先 高千穂町議会(高千穂鉄道跡地公園化事業について)

視察した理由として、お互いに共通点が3つあることです。

- ①令和5年3月議会において、両町とも関連予算が否決された事
- ②両議会も特別委員会を設置し、調査研究を行っている事
- ③両町ともPFI事業で行うという事の3点です。

高千穂町議会として今後は、町民の意見も取りまとめで、町へ提言を予定しているとの事でした。

両議会議員も多額の投資について、将来の街の財政状況に対する不安等が共通する所であると感じたところです。



町村議会広報研修会報告

●日程：9月26日(火) ●場所：東京都(日経ホール)
●参加者：議会広報編集常任委員4名
及び議会事務局1名

研修 町村議会広報研修会

広報に必要な法律知識、特に肖像権やプライバシー権について弁護士から学び、今後、より注意を払う必要性を感じました。

また、わかりやすさだけでなく、印象に残りやすく読んでもらえる記事づくりや、生駒市の広報紙等の事例を踏まえ、伝わりやすくするためのデザイン等について学ぶことができました。

委員会として、広報誌を読みやすくするための配慮とより充実した内容にしていくべきだと思いました。

研修後、三島通庸公のお墓参りに行きました。



三股町交流拠点施設整備事業(五本松町営団地跡地活用事業)に対するアンケート結果について

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

※詳しくはホームページをご覧ください(スマートフォンで表紙の二次元コードを読み込むとアドレスが表示されます)

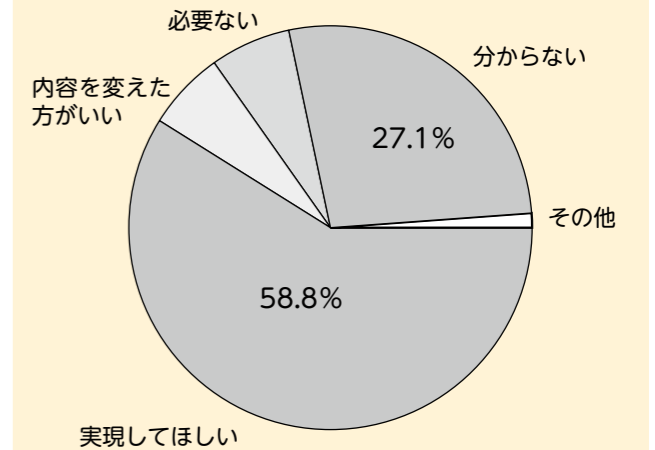
現在、三股町では五本松町営団地跡地約2ヘクタール(約6000坪)の活用計画を立てています。このことについて、あなたのお考えを聞かせてください。このアンケートの結果で町の計画が変わるものではありませんが、三股町議会として、参考にさせていただきたいと考えております。

三股町交流拠点施設整備事業とは

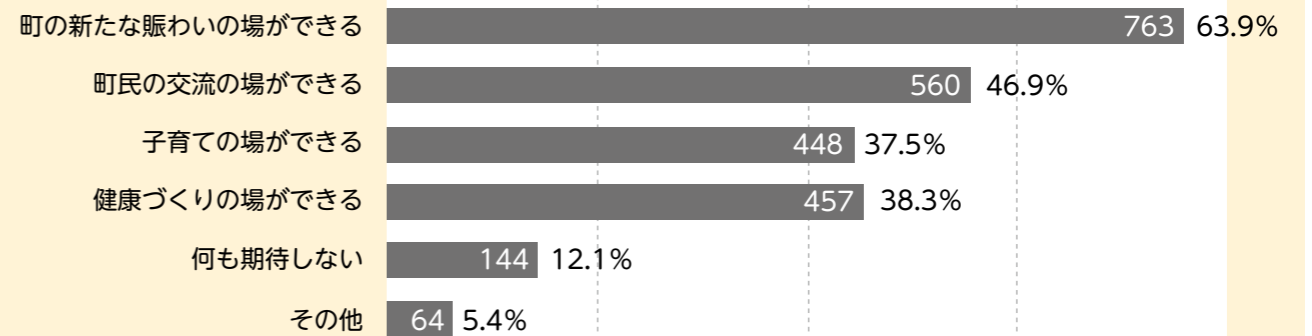
「健康と交流と賑わいの拠点づくり」をテーマに、学び機能と子ども子育て機能と健康づくり機能を備えた町民交流施設(行政施設)と買い物と食の機能を持った商業交流施設(民間施設)の整備を行うものです。

総事業費は最大で20億円(国からの補助なども含みます。)を見込んでおり、整備後は毎年の維持管理費も発生します。

この事業についてどのように考えますか



この事業に何を期待しますか(複数回答可)



議会議員の不適切発言について

9月11日に「議会議員の不適切と思われる発言に関する申し入れ」が町長より提出されました。それを受けて議会は19日、「三股町議会ハラスメント根絶条例に基く審査会」を発足させ、事実関係の把握や今後の対応を調査致しました。審査会では「ハラスメントはあった」との審査結果でしたが、29日の全員協議会にて「不適切発言ではあったが、ハラスメントとは言えない」との採決に至りました。

今後は全議員が、これまで以上に人権問題やハラスメントについて正しく理解できるよう研修を行い、ハラスメントの防止及び根絶に努めて参ります。





三股よかところ再発見

三股町議会議員たちが、わが町の「よかところ」を紹介するコーナーです。

vol.2

研修先で三島通庸公のお墓参りをしました!!



三島公の墓(左)、夫人の墓(中央)、墓碑(右)



三股小の銅像

明治になり都城地方の統治の責任者となった三島通庸公(34才)は、様々な施策を実施しました。その一つが当時鹿児島本藩領であった勝岡郷と都城島津家領であった梶山郷を合併(1870年)させて、

現在の三股町の基礎を創ったことです。

その後すぐに、新政府に呼び出され東京のまちづくりを担当します。その途中からは東北地方のまちづくりに力を入れることになり、山形・福島・栃木の県令(知事)を歴任しました。現在でもその際の功績は高く評価されており、各地の史跡等で三島公の名を見ることが出来ます。このような三島公のまちづくりの原点は三股でのまちづくりにあったといわれます。

50歳で警視總監となり、東京の治安維持に努めましたが、在任中の53才で病気のために亡くなりました。



青山霊園案内図(東京都)



議員の目

自分の信じた道を曲げず無骨に仕事に邁進されたと語り継がれる姿を想像すると、三島公はポケモンの人柄であったのではなからうかと思えます。

そんな、三島公の死を惜しんで、葬儀には1万人以上が参列したと伝えられています。

この青山霊園で群を抜いてそびえ立つ石碑を見て、壮大な葬儀だったと思い、偉大なる先人の存在を感じた次第でありました。



編集後記

9月の議員による不適切発言に関して、新聞やテレビで報道されました。町民の皆さまには、大変なご心配とご迷惑をお掛け致しました。その事について、深くお詫び申し上げます。

今回のことを受け、審査会等で「ハラスメント」の意味や「人権侵害」について考察・論議を重ねました。

誰もが、何気ない言葉で人権を侵害してしまう事はあると思います。しかし、一人ひとりの町民の人権を守るべき議員として、自らが発する言葉の重みを、私たちは常に自覚する必要があると考えます。

今回の事を他人事とせず、これまで以上に人権擁護の意識を高く持ちながら、議会・議員活動に励んでいきたいと思います。(上西)

議会広報編集常任委員会



委員長	副委員長
上西雅子	岩津良
委員	委員
楠原更三	田中光子

